

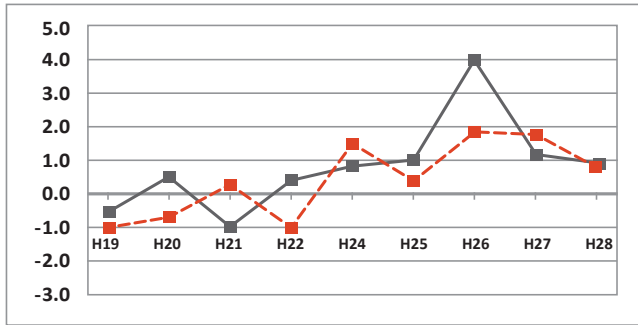
## 各調査等の結果から

### 【全国学力・学習状況調査】

〈各教科の指導のポイント〉

— A 知識      - - - B 活用  
※本県の正答率の全国平均との差を表す。

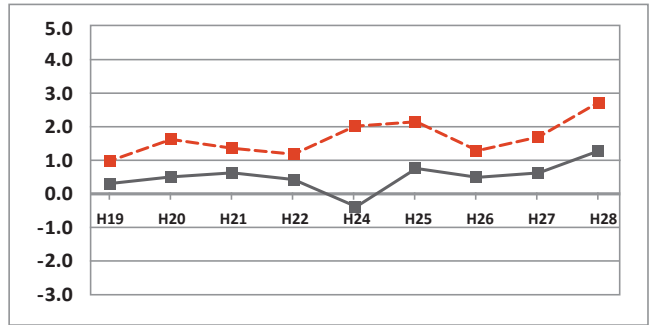
#### (小学校6年 国語)



#### 【指導のポイント】

- ◇児童が明確な目的意識をもてる言語活動を設定し、相手に伝わるように情報を関連付けたり取捨選択したりして発信する学習活動の充実
- ◇言葉の特徴やさまり、文字について、「書くこと」「読むこと」の学習内容と関連付けて考え、正しく用いる指導の充実

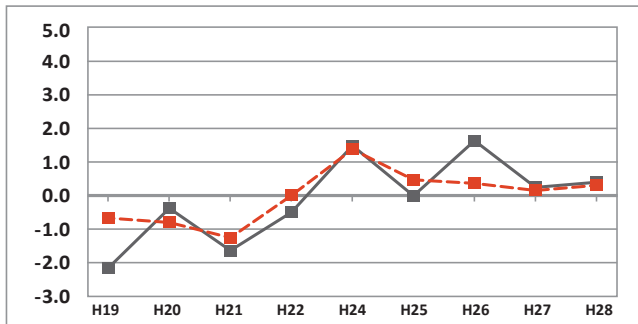
#### (中学校3年 国語)



#### 【指導のポイント】

- ◇課題解決的な言語活動を設定し、複数の資料から適切な情報を得て関連付けたり、根拠を吟味して自分の考えを表現したりする学習活動の設定
- ◇言葉のさまりや日常生活でなじみの薄い語句などについて、具体的な使用場面と関連付けて考え、正しく用いる指導の充実

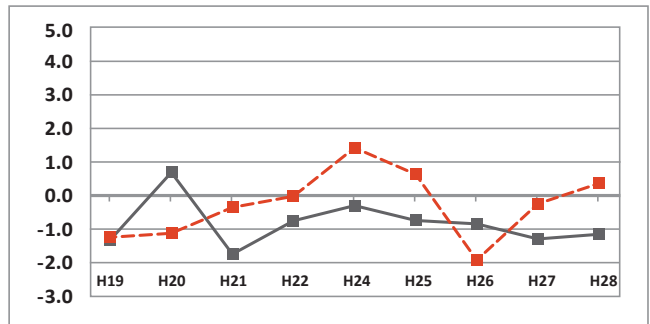
#### (小学校6年 算数)



#### 【指導のポイント】

- ◇基準量、比較量、割合の関係を数直線で表す等、数量の関係を表現する学習活動の充実
- ◇事柄が成り立つことの根拠を、数量や図形の性質等を基に考え、説明する学習活動の充実

#### (中学校3年 数学)



#### 【指導のポイント】

- ◇具体的な事象における二つの数量の関係を表、式、グラフなどで表し、関数関係を見だし、関連付けて考察する学習活動の設定
- ◇事柄が成り立つ理由を筋道立てて考える学習活動の充実

#### (小学校6年 理科)

#### 【指導のポイント】

- ◇観察・実験の時間を確保し、器具を適切に操作できるようにする指導の充実
- ◇結果を見通して実験を計画する学習活動の充実

#### (中学校3年 理科)

#### 【指導のポイント】

- ◇結果が数値で示された表を分析して解釈し規則性を見いだせるようにする指導の充実
- ◇予想や仮説を検証するための観察・実験を計画する学習活動の充実

### 〈学習状況等の課題と指導のポイント〉

#### 【課題】

「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」、「自分の考えを発表する機会が与えられていた」児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

#### 【指導のポイント】

- ◇互いの見方や感じ方、考え方を批判なしに受け止め合える学級の雰囲気づくりに努める。
- ◇児童生徒の知的好奇心をゆさぶる課題を設定したり、発問を吟味したりする。
- ◇考えをまとめたり書いたりする時間を確保し、その時間を利用して個別に支援する。
- ◇発言が授業で生かされた実感がもてるよう、価値付けたり他の児童生徒につないだりする。

※県の分析結果等の詳細については、県教育委員会、教育情報ネットワークWebページを参照

## 【県学力診断のためのテスト】

(平成29年1月実施)

	主な課題等	改善の方向性
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人物の気持ちの変化を捉えることや収集した事柄を整理して書くことに課題が見られる。</li> <li>○ 説明的な文章を読んで、その構成や展開、表現の特徴を分析的に捉えることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 場面についての描写や登場人物の行動及び心情を、複数の叙述を関連付けて捉えられるように指導する。</li> <li>○ 児童生徒が目的意識や相手意識を明確にもって取り組める言語活動を設定し、情報の取り上げ方や表現の仕方などを吟味する場面を大切に指導する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象の特色や意味などを考えることに課題が見られる。</li> <li>○ 習得した知識、概念等を活用し、資料と関連させて分かったことを表現することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特色や意味を説明する場面では、「根拠」だけでなく、「理由」をしっかりと述べて説明できるように指導する。</li> <li>○ 振り返りを重視し、学習問題「問い」に対して「考えて分かったこと」を整理してまとめて書く活動を充実させる。</li> </ul>
算数 数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 割合や単位量当たりの大きさを活用して、合理的に判断し処理することに課題が見られる。</li> <li>○ 与えられた条件を整理したり、着目すべき性質を見いだしたりして証明を書くことに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基準量、比較量、割合の関係を図や数直線で表したり、数量の関係を図から読み取ったりできるようにする。</li> <li>○ 証明する必要性を確認したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考えたりする活動を重視する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科の知識や観察・実験の技能を生かして、予想を確かめる実験方法を考えることに課題が見られる。</li> <li>○ 実験結果をグラフや表にして分析・解釈し、規則性を見いだしたり説明したりすることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の予想や仮説は、どの要因に着目して実験を計画し、どのような結果になれば正しいと言えるのか見通しがもてるよう指導する。</li> <li>○ 表やグラフの違いや共通点などを捉えさせ、見いだした規則性や特徴について根拠や理由を明らかにして話し合うよう指導する。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 状況を説明する際に使用する語を、適切な形で書くことに課題が見られる。</li> <li>○ 文章の内容を的確にとらえ、簡潔に説明することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スキット等で語形の変化に気付かせ、コミュニケーション活動を通して、実際に使えるようになることで定着を図る。</li> <li>○ サマライジング(要約)等で把握した文章の内容を、簡潔に表現するグループ活動等を計画的に行う。</li> </ul>

※ 教科の課題、改善のポイント等の詳細は、県教育委員会Webページを参照

## 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

(平成28年4月から7月実施)

内容	対象	現況と課題	改善の方向性
実技調査 体力・ 運動能力	小学5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 測定項目の得点合計が、男女ともに全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 測定項目別にみると、男子はソフトボール投げを除いて全国平均値を上回っている。女子は、すべての項目で全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 男子のソフトボール投げに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校では、「投力アップチャレンジプラン」を作成し、体育の授業や休み時間、体育的行事等をはじめ、休日などにおいても投げる機会を多く取り入れ、投能力の向上を図る。</li> <li>○ 中学校では、本調査結果を踏まえ、保健体育の授業や運動部活動等を通じてバランスのとれた体力の向上を図る。</li> <li>○ 体力づくり推進委員会の設置と年3回程度の委員会を開催する。また、学校全体で「体力アップ推進プラン」に基づくRPDCAサイクルを確立する。</li> </ul>
	中学2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 測定項目の得点合計が、男女ともに全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 測定項目別にみると、男女ともすべての項目で全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 長座体前屈の結果は、昨年度に比べて下回っており、柔軟性に課題が見られる。</li> </ul>	
質問紙調査	小学5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動が好き」「体力に自信がある」「運動は大切」という割合が、男女とも全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 「1週間で全く運動しない」という割合が、男女とも全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 放課後や休日の投げる運動習慣に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業前・業間・昼休み・放課後、家庭での運動(遊び)の計画的・継続的な実践により、運動習慣の確立を目指す。</li> <li>○ 運動好きの児童生徒の育成を目指し、生涯にわたって運動に親しむことができるよう、体育・保健体育の授業の充実・改善を図る。</li> <li>○ 食事や睡眠、運動の必要性についての指導を充実させるとともに、生活習慣の改善に向けて家庭との連携を図った取組を展開する。</li> </ul>
	中学2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動が好き」という割合が、男女とも全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 「体力に自信がある」という割合が、男子で全国平均値を上回っている。</li> <li>○ 体育の授業以外、「1週間の総運動時間が0分」という生徒も女子にみられるなど、運動習慣に課題が見られる。</li> </ul>	